

工賃向上計画（R6-R8）

提出日	H36.4.26
-----	----------

1 事業所の概要

フリガナ 法人名	カブシキカイシャ モリオカシヨボウ 株式会社 盛岡書房	フリガナ 法人代表者名	ダイエイウトリシマリヤク タカダテ ミホ 代表取締役 高館 美保子
フリガナ 事業所名	モリオカシヨボウ 盛岡書房	フリガナ 事業所代表者名	タカダテ ミホ 高館 美保子
住所	〒 020-0866 岩手県盛岡市本宮1丁目9-12 TEL:019-681-3971 Fax:019-681-3972 Email:takadate@moriokashobo.co.jp		
施設種別	就労支援継続B型事業所		
利用定員数 (R6.4.1現在)	20名	利用現員数 (R6.4.1現在)	21名
職員数 (R6.4.1現在)	4人（うち、職業指導員 2人、目標工賃達成指導員 1人）		
事業所の特徴			
<p>就労継続支援B型での主な作業は、オンラインストアでの古本販売業務です。お客様の電話対応から販売、発送まですべての業務を利用者が行い、働くために必要な知識や能力を実務の中から高めていきます。</p> <p>また、販売状況をもとに、グループワークやディスカッションを活用した、アクティブラーニングによる手法を通じて、就労に必要な実践力を身につけ、座学などのインプット型の学びでは得ることのできない、「生きる力」を育成しています。</p> <p>経験、性別、年齢に縛られることなく、作業の対価として工賃をもらいながら、自分のペースで一般就労から職場定着までを目指すことができる事業所です。</p>			

2 目標工賃

① 目標工賃の算出方法

月額	
時間額	○

目標工賃を算出方法として希望するものを、「月額」と「時間額」のどちらか一方のみ「○」を選択してください。

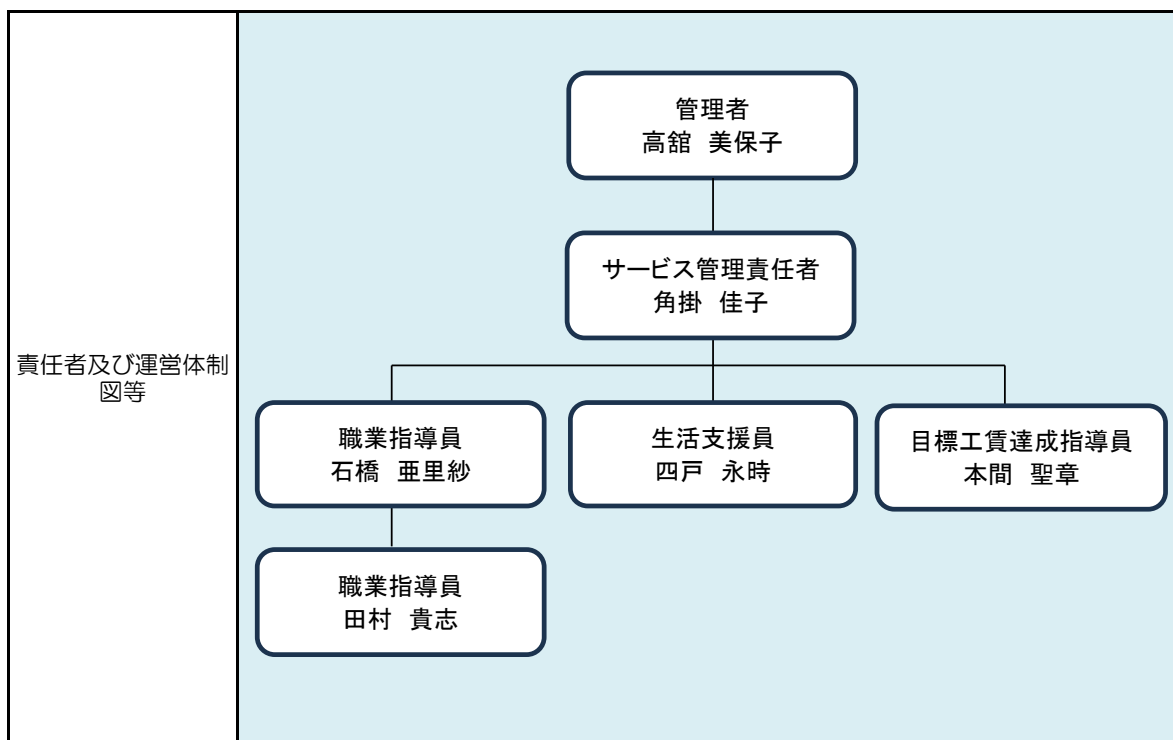
② 目標工賃額

	平均工賃（円）	
	月額	時間額
令和3年度(実績)	13,834	212
令和4年度(実績)	15,239	200
令和5年度(実績)	20,284	204
令和6年度(目標)	20,800	208
令和7年度(目標)	21,100	211
令和8年度(目標)	21,500	215

③ 目標工賃伸び率（R8年度目標額/R5年度実績額）

	目標工賃 伸び率	基準工賃 伸び率	目標工賃伸び率が基準工賃伸び率に届かない場合は、その具体的な理由を記載してください。
月額	/	/	
時間額	5.4%	5.1%	

④ 工賃向上計画の推進体制



3 既存事業の現状と評価

令和5年度実績合計	年間売上金額	5,815,212	利用人員数	延べ228人	支払工賃総額	3,263,687
-----------	--------	-----------	-------	--------	--------	-----------

4：とてもあてはまる 3：ややあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：全くあてはまらない

作業科目とその特徴	現状及び評価			事業の課題と方向性	目標工賃達成に向けて (拡大・現状維持・縮小・撤退)			
	事業の収益性(令和5年度実績)	事業の将来性 (4段階評価)	事業の意義 (4段階評価)					
<作業名> オンラインストア「盛岡書房」 運営事業 <特徴> メルカリにて販売 SDGs 4, 8, 11, 12, 17への 取組や象と花プロジェクト(病 気の子供たちへ本を寄贈す る活動)で中古本を寄付し いただき、販売する	年間売上金額(A)	5,815,212	①もつと販売・ 受注が見込め る	3	④利用者の特性 にマッチしている	4	(課題) 作業者のスキルアップ 販路の拡大 寄付本の安定した本量の確保 (方向性) 作業工程の見直し 作業者の能力等に合わせた指導 を強化 SDGsへの取組、象と花プロジェク トの周知	拡大
	「原価」(B):①+②+③	1,861,649						
	①仕入:原材料費		②もつと生産 量・受注量 を増やせる	3	⑤利用者の職業 能力の開発が見 込める	4		
	②利用者以外の人件費							
	③その他経費	1,861,649	③商品力・技 術力が高い	4	⑥地域とのつな がり・貢献性が 高い	4		
	「粗利益額」(C):A-B	3,953,563						
	利用者人員(D)	228						
	一人あたり「粗利益額」(C/D)	17,340						
支払工賃額(E)	3,263,687							
支払工賃額(E)÷粗利益額(C)	83%							
<作業名> <特徴>	年間売上金額(A)		①もつと販売・ 受注が見込め る		④利用者の特性 にマッチしている		(課題)	
	「原価」(B):①+②+③							
	①仕入:原材料費		②もつと生産 量・受注量 を増やせる		⑤利用者の職業 能力の開発が見 込める			
	②利用者以外の人件費							
	③その他経費		③商品力・技 術力が高い		⑥地域とのつな がり・貢献性が 高い			
	「粗利益額」(C):A-B							
	利用者人員(D)							
	一人あたり「粗利益額」(C/D)							
支払工賃額(E)								
支払工賃額(E)÷粗利益額(C)								
<作業名> <特徴>	年間売上金額(A)		①もつと販売・ 受注が見込め る		④利用者の特性 にマッチしている		(課題)	
	「原価」(B):①+②+③							
	①仕入:原材料費		②もつと生産 量・受注量 を増やせる		⑤利用者の職業 能力の開発が見 込める			
	②利用者以外の人件費							
	③その他経費		③商品力・技 術力が高い		⑥地域とのつな がり・貢献性が 高い			
	「粗利益額」(C):A-B							
	利用者人員(D)							
	一人あたり「粗利益額」(C/D)							
支払工賃額(E)								
支払工賃額(E)÷粗利益額(C)								
<作業名> <特徴>	年間売上金額(A)		①もつと販売・ 受注が見込め る		④利用者の特性 にマッチしている		(課題)	
	「原価」(B):①+②+③							
	①仕入:原材料費		②もつと生産 量・受注量 を増やせる		⑤利用者の職業 能力の開発が見 込める			
	②利用者以外の人件費							
	③その他経費		③商品力・技 術力が高い		⑥地域とのつな がり・貢献性が 高い			
	「粗利益額」(C):A-B							
	利用者人員(D)							
	一人あたり「粗利益額」(C/D)							
支払工賃額(E)								
支払工賃額(E)÷粗利益額(C)								
<作業名> <特徴>	年間売上金額(A)		①もつと販売・ 受注が見込め る		④利用者の特性 にマッチしている		(課題)	
	「原価」(B):①+②+③							
	①仕入:原材料費		②もつと生産 量・受注量 を増やせる		⑤利用者の職業 能力の開発が見 込める			
	②利用者以外の人件費							
	③その他経費		③商品力・技 術力が高い		⑥地域とのつな がり・貢献性が 高い			
	「粗利益額」(C):A-B							
	利用者人員(D)							
	一人あたり「粗利益額」(C/D)							
支払工賃額(E)								
支払工賃額(E)÷粗利益額(C)								
<作業名> <特徴>	年間売上金額(A)		①もつと販売・ 受注が見込め る		④利用者の特性 にマッチしている		(課題)	
	「原価」(B):①+②+③							
	①仕入:原材料費		②もつと生産 量・受注量 を増やせる		⑤利用者の職業 能力の開発が見 込める			
	②利用者以外の人件費							
	③その他経費		③商品力・技 術力が高い		⑥地域とのつな がり・貢献性が 高い			
	「粗利益額」(C):A-B							
	利用者人員(D)							
	一人あたり「粗利益額」(C/D)							
支払工賃額(E)								
支払工賃額(E)÷粗利益額(C)								

4. 改善計画シート

具体的作業名	改善テーマ	目 標	目標達成の方法	担当者名	評 価(期末記入欄)
<p>オンラインストア 「盛岡書房」運営事業</p>	<p>SDGs 4.質の高い教育をみんなに 8.働きがいも経済成長も 11.住み続けられる街づくり 12.つくる責任つかう責任 17.パートナーシップで目標を達成しよう</p> <p>象と花プロジェクト(病気の子供たちへ本を寄贈する活動)の周知</p>	<p>(6年度) 事業の仕組み拡張</p> <p>(7年度) 事業の仕組み拡張</p> <p>(8年度) 事業の仕組み拡張</p>	<p>(6年度) ・本の街もりおか(2017年本購入全国1位)の市民から読み終えた本を寄付してもらう。 ↓ ・就労訓練作業としてクリーニング等を行う。 ↓ ・オンラインストア「盛岡書房」他販売サイトで販売。</p> <p>・寄付団体を増やす(パートナーシップの拡大)SDGs17 ・売上げの一部を社会的活動している団体へ寄付(地域の活性化)SDGs11 ・販売できない本のリサイクル(古紙分別と再利用)SDGs12 ・利用者の販売ミーティング参加(自主性・主体性)SDGs8 ・本がテーマのイベント開催(知識の還元)SDGs4</p> <p>(7年度) 上記6年度の方法を繰り返し拡大していく</p> <p>(8年度) 上記6年度の方法を繰り返し拡大していく</p>	<p>本間</p>	
		<p>(6年度)</p> <p>(7年度)</p> <p>(8年度)</p>	<p>(6年度)</p> <p>(7年度)</p> <p>(8年度)</p>		

5 県が実施する支援策について

問1 (1)～(6)について該当する項目に○を付けてください。下記以外で希望する支援がある場合には(7)に記載してください。

	過去に支援を受けたことがある ↓	今後支援を希望する ↓
(1) 企業の経営手法の導入		
・ 専門家(経営)の派遣		○
・ 役員、管理者向けの経営セミナーの開催		○
(2) 技術指導の強化		
・ 専門家(技術)の派遣		
・ 農業との連携事業における農業技術取得支援		
(3) 他産業等との連携の促進		
・ 農業分野との連携による施設外就労、施設内農業等の促進		
(4) 受注・販路の拡大		
・ 民間企業、行政機関等への発注の呼び掛け	/	○
・ 県の官公需における発注目標の設定、優先発注等の庁内周知	/	○
(5) 共同化・連携の推進		
・ 共同受発注機能の推進	/	
(6) 説明会や研修等の実施		
・ 工賃引上げの取組を活用した好事例の紹介、説明会		○
・ 就労支援事業所経営支援研修会		○
(7) その他(自由記載)		

問2 農福連携について質問します。

(1) 事業所の作業で農業等に携わっていますか。該当するものすべてに○を付けてください。

自身の事業所で農作物の生産を行っている。	
施設外就労として農業者や漁業者の作業を受託している。	
農作物や水産物の加工を行っている。	
全く関わっていないが、興味はある。	
全く関わっておらず、現在のところ予定もない。	

(2) 農福連携を実施する上での課題と考えられるものすべてに○を付けてください

周年での作業が確保できない。	
農業に興味はあるが、農業者とつながりがない。	
今の人員体制では対応できない(人員不足)。	
施設職員に農業に関するノウハウがない。	
農作業を行う場所までの移動	
施設外で利用者が農作業を行う際の安全対策	
施設外で利用者が農作業を行う際の設備(トイレ、休憩所等)	
農業者の障がいに対する理解促進	

(3) 以下の取組で興味があるものすべてに○をつけてください。

農業の専門家等のアドバイザー派遣	
農業者と事業所をつなぐマッチング支援	
施設職員を対象とした農業セミナー	
事業所が生産した農産物や加工品等を販売するマルシェへの参加	

(4) 農福連携に関して希望する支援があれば自由に記載してください。